一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和３年第２回定例会

令和３年６月１４日

質問順	会　派　名 氏　　名	質　問　事　項（要　旨）
1	公明党議員団 福　田　正　人	1　奨学金返還支援について 2　ヤングケアラーの実態について 3　コミュニティバスの運行について
2	ＭＵＫＯクラブ 和　島　一　行	1　高齢者へデジタル推進について 2　物集女燈篭前～新田歩道橋下の横断について
3	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	1　指定ごみ袋導入について 2　第３次向日市環境基本計画について 3　都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線の建設について
4	令和自民クラブ 松　本　美由紀	1　潜在的待機児童・少子化対策について 2　妊産婦への支援・コロナ対策について 3　阪急洛西口駅西地区開発について
5	杉　谷　伸　夫	1　向日市の地球温暖化対策を加速すること 2　デジタル改革法で、個人情報と住民サービスは守れるか？ 3　向日市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例について
6	公明党議員団 長　尾　美矢子	1　生理の貧困について 2　公共施設のコロナ対応、WI-FI 環境の整備について
7	ＭＵＫＯクラブ 太　田　秀　明	1　.積極的な情報公開をすることについて 2　情報公開条例と文書取扱規程ついて 3　一部事務組合の管理と統合について
8	日本共産党議員団 常　盤　ゆかり	1　女性・若者・市民への支援について 2　教育の諸課題について
9	令和自民クラブ 石　田　眞由美	1　竹林政策について 2　竹の径の整備と利活用について
１０	村　田　光　隆	1　指定ごみ袋について

１１	日本共産党議員団 北　林　智　子	１　コロナ禍での子どもたちの置かれている状況について ２　令和３年度の待機児童等について
１２	飛鳥井　佳　子	１　子どもや女性の自殺や児童虐待の急増に歯止めをかけることについて ２　動物愛護の精神を街中に広げることについて ３　勾配が急で危険な西野地区の道路の改善を　！ ４　デジタル庁構想やマイナンバーカード制度の危険性について ５　不登校は自然なことで周りが過剰反応、強要をせず、そっと社会全体で見守ることについて
１３	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　JR 向日町駅東口開設推進事業について ２　森本東部地区開発について ３　議会と行政の在り方について ４　水道について
１４	日本共産党議員団 山　田　千枝子	１　コロナ禍を収束させるためのワクチン接種などの諸問題について ２　市民は勿論、職員の１人１人が大切にされる向日市を
１５	日本共産党議員団 丹　野　直　次	１　デジタル化推進法の諸問題について ２　老朽原発再稼働から住民を守る地域防災計画改定について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．奨学金返還支援について	① 昨今、全国的に奨学金返還を支援する取り組みが増加し、国の特別交付税措置も拡大されている。このような状況をどう認識しているのかを聞く。 ② 奨学金返還支援事業は、若者の経済的負担の軽減や子育て環境の充実につながるが、本市の事業実施の考えを聞く。 ③ 京都府においては就労・奨学金返済一体型支援事業がある。本市においても制度の周知と導入企業増加に向けた働きかけが必要と考えるが如何か。
２．ヤングケアラーの実態について	① 家族の介護や世話に追われる子供たちのヤングケアラーの実態を、本市では把握されているか聞く。 ② ヤングケアラーに対する教職員への啓発や理解を促がすような対応策はあるのかを聞く。 ③ 本市におけるヤングケアラー支援に対する必要性をどのように認識されているのかを聞く。
３．コミュニティバスの運行について	① 本市を走行する路線バスは、採算の合わない路線の廃止・減便が発生している。課題解決のために地域公共交通会議の役割は重要であるが、コロナ禍の中、今後の開催の予定は如何か。 ② 本市を走行する路線バスの現状と見通しを聞く。 ③ 併せて、本市のコミバスの運行状況を聞く。 ④ 昨年、東山のバス停を通るバスが減便となり、地域住民から不安の声が上がっている。更なる減便廃止に繋がらないことが前提であるが、試験的にコミバスを、東山バス停を通るルートに変更を検討しては如何か。 ⑤ 高齢者の運転免許自主返納支援事業の状況を聞く。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	和島　一行	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．高齢者へデジタル推進について	総務省は５月１８日、スマートフォンなどデジタル機器を扱うことが苦手な人を対象に、基本的な利用方法などを学べる無料講習会を６月中旬から全国の携帯電話ショップなど約１８００カ所で、順次開始すると発表した。以降は地元ICT 企業やシルバー人材センターが地方公共団体と連携して公民館等で実施するとある。 １）本市の高齢者に向けたスマホ、インターネット講座の開催を令和元年10月に開催しているが、以降の取り組み実施は確認できない。 この総務省のデジタル活用支援に習い、本市はどういう方向性、スケジュールで推進するか伺う。 ２）本市公式アカウントの登録者数がコロナワクチン接種予約で現在 6,344 人まで増えた。 これを機にそろそろ奈良市の公式アカウントのようなセグメント配信サービスを提供することで、高齢者個々のニーズに合った情報が自分で探さなくても配信される。　このようにもう一歩踏み込んだサービスが必要不可欠である。 予算や費用対効果等は様々な質問等で承知していることから、それに関しての答弁は不要とする。

傍聴者　配布資料

２．物集女燈篭前～新田歩道橋下の横断について	①物集女燈篭前～新田歩道橋下の横断については幾度となく、私や他の議員も質問してきたが改善される形にはならない。あれから警察との協議はどのような内容だったのかお聴きする。 ②高齢者の横断は特に危険である。高齢者はどうやって安全に横断させることができるのか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
１．指定ごみ袋導入について	**拙速に導入するのではなく、広く市民の声を聞き、積極的に施策に取り入れ、進んで市民が参加できるようにすることを求めます。** ８点質問いたします。 １，コロナ禍のために市民説明会も延期になっている中で、実施ありきでなく丁寧に説明し、８月からの施行、令和４年２月からの実施を遅らせるべきと考えますがいかがでしょうか。 ２，２市１町共通の指定袋が販売されるように聞いているが向日市は承認されたのでしょうか。 ３，〇「指定袋の導入」ストップし、市民の声を聞いて減量を進めてください。 〇資源ごみの出し方を市民の出しやすい方法にしてください。 紙袋や段ボール箱に入れて出している人などごみ減量に努力をされている人たちの声を聞くなど、請願署名１３７４筆にあるように市民の声に応えるべきではないでしょうか。 ４，令和３年第１回定例会で「市長は市民を信頼している」と繰り返し答弁されていました。今こそ市民の要望に応えるときではないでしょうか。 ５，市民説明会で出された意見に今後どのようにこたえるのでしょうか。 ６，指定ごみ袋の導入の説明会ではなく、ごみ行政について市民に直接意見を聞く交換会を開いてはどうでしょうか。 ７，資源ごみの戸別収集等を考えていると聞いているが、ごみ収集など総合的なごみ政策を示すべきではないですか。 ８，第３次向日市環境基本計画にも反映すべきではないでしょうか、考えをお聞かせください。		

傍聴者　配布資料

２．第３次向日市環境基本計画について	**第３次向日市環境基本計画策定委員会が発足しましたが、地球温暖化対策は待ったなしです。向日市として積極的に環境対策を市民と一緒に進め、向日市が先進自治体になる計画を求めます。** １，企業の利益最優先の国の政策には反対し、人と地球にやさしい環境に責任を持った第３次向日市環境基本計画を作ることを求めるがいかがでしょうか。 ２，基本計画策定委員会に市民公募の方が２名参加され積極的な発言をされています。市民の声を取り入れて、実効ある第３次向日市環境基本計画になるように求めるがいかがでしょうか。 ３，向日市としても環境を保護するためにも資源ごみ（古紙等）集団回収制度 を第３次向日市環境基本計画に取り入れるべきと思いますがいかがですか。
３．都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線の建設について	①この道路は外環状線から府営住宅上植野団地内を通り向陽高校北側から森本上植野幹線に接続される計画と考えられるが、地権者は同意されているのでしょうか。 ②都市計画法第１６条は公聴会の開催が決められています。この道路建設について地域住民の意見を聞くべきであると考えますがいかがでしょうか。また、この道路建設による直接的な影響があるヴェレーナ・府営・サーパス・北野田など各自治会住民の意見は聞かれたのでしょうか。 ③第５向陽小学校西側のひまわりミラー交差点は登校時（A７：４５～８：１５）東行き西行とも車両が極めて多く、雨の日は特に多い。この交差点では現在、市の交通指導員が２人、PTA が１人、ボランティアが１人の合計４人が交通指導に当たっておられるが小・中・高の児童、生徒が多く、日々ドライバーの協力は得ているが、交通事故が大変心配されるとのことです。その上に新しい都市計画道路（牛ケ瀬勝竜寺線）が建設されれば、向陽高校北側交差点は外環からの通過車両の増加で、信号機がなければ安全な登下校はできません。信号機設置を府公安委員会に強く要望していただきたいと考えますがいかがでしょうか。 ④現行の森本上植野線は市民プールの信号以南は大型車両通行規制されています。従って新しい都市計画道路も大型車両通行規制を是非とも行っていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	松本　美由紀	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．**潜在的待機児童・少子化対策について**	① 本年４月保育所申込者数の総人数から実際の入所決定者数を引いた人数は何人か？ ② 多くの有識者や研究者が公表されているように、これまで以上に増加すると言われている特徴のある子どもたち、所謂グレーの子どもたちの居場所づくり、また支援策について、今後本市はどのように考えているか見解を伺う。 ③ 閉園が決定しているうりゅう保育園の閉園時在園児の転園について、本市はどのように考えているか、本市の見解を伺う。 ④ 第３保育所の跡地について今後どのように活用を考えているか、本市の見解を伺う。 ⑤ 通園時の安全対策について 特にかおりのはな保育園やひまわり保育園など、公道に面した保育園等から子どもたちの安全を確保するために、キッズゾーンや横断歩道の安全整備について、本市の見解を伺う。
２．**妊産婦への支援・コロナ対策について**	① 産婦検診助成事業の実施について R3 年度から新たに宇治市・木津川市・和束町・精華町・南山城村が実施することとなり、府内で実施していない市は乙訓地域と亀岡市だけとなった。本市での実施はどのように考えているか本市の見解を伺う。 ② 妊婦やこれから妊娠を希望する女性に対してのワクチン接種については、妊婦が高齢である場合や糖尿病などの持病がある場合、胎児の状況など個々によってリスクが異なる。個別接種ではなく胎児の状況確認や母子への対応ができる産婦人科での接種が望ましいと考えるが、優先接種の取り扱いも含めて本市はどのように取り扱いを考えているか、本市の見解を伺う。

	③ 手術や出産時などの通訳について コロナと共存を余儀なくされる現在、急な容態の変化に伴う医療体制も強化する必要がある。また、本市においても、外国人の出産、特にベトナムやフィリピンなどの東南アジアの方々の出産が増加傾向にあるとお聞きしている。京都市はぐくみ局が支援しているような通訳ボランティアの支援について、乙訓医師会と連携して乙訓地域内においても体制を整える必要があると考えるが、本市の見解を伺う。
３．阪急洛西口駅西地区開発について	① 今後の見通しについて どのようなまちをつくるか市がビジョンを示し誘導し、まちづくり協議会などとともに開発を行うことが重要だと考える。このコロナ禍において社会経済的にも厳しい状況下の中で、今後のホテルの需要と誘致等の観点から、本市は現状、今後の見通しについてどのように分析をされているか、本市の見解を伺う。 ② 御陵山崎線と市道２００８号線の西進によるＬ字部分の道路整備について 桂寺戸線と市道２００８号線の交差点である高架のスパンについて、市は阪急電鉄の連続立体化交差事業を行なった時、西方向への将来的なアプローチを見据えて約３０００万円を先行投資して道路環境の整備に努めてきた。これからのまちづくりの開発に伴っては、御陵山崎線のパチンコヨーデルを南下、市道２００８号線を西進し交わる部分までのＬ字部分の道路整備については、寺戸西部地域及び物集女地域からの往来に非常に重要な交通網となる。よって、当該地区の開発にはその部分の道路整備について早急な工事が必要と考えるが、市の見解を伺う。 ③ 移設予定の３基の鉄塔について 石田地域に隣接する箇所の他、南側の東西に移設する２基の鉄塔周辺の開発地域外の土地所有者への説明と理解が必要ではないかと考える。本市の見解を伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問・~~分割質問~~）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に所属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市の地球温暖化対策を加速すること	これからの１０年は人類の未来を決める１０年であり、地球温暖化対策の加速が求められる。本市の新たな基本計画をつくるこの時期に、対策を強力に推進して頂きたい。 （１）本市の温室効果ガス削減目標と取り組み方針は？ （２）目標達成のための取り組みの体制について 計画の進捗をチェックし、推進するため、市民参加の常設の第三者の審議会が必要ではないか？ （３）行政が温室効果ガス削減に率先して取り組むことについて ①本市行政の温暖化ガス排出削減の計画（温暖化対策実行計画・事務事業編）はどうなっているか ②市の施設の電力を再生可能エネルギー主体に変えること。環境配慮条項を盛り込んだ入札方式に改革するべきではないか？ ③市の新庁舎の完全ＺＥＢ化をめざすことについて
２．デジタル改革法で、個人情報と住民サービスは守れるか？	５月に成立したデジタル改革関連法は、市民の人権である個人情報の保護と地方自治の原則を揺るがす大きな問題がある。市民の人権と生活を守るという自治体行政の使命を果たすため、国の一方的な基準の押しつけに安易に従うことなく、主体的な判断・対応を求める。 （１）個人情報保護３法の統合と自治体の個人情報保護制度の共通ルール化について ①自治体の個人情報保護に、国による共通ルール化の強要はできないのではないか？ ②個人情報保護条例の「外部機関とのオンライン結合

	制限」の規定を廃止・緩和するべきではない。 ③匿名加工情報の利活用の問題について （２）自治体業務システム統一・標準化の義務化について ①国による自治体業務標準システムを、本市は義務として利用しなければならないのか？ ②国の標準システムに、自治体独自の措置は可能か？ ③自治体業務システムの統一・標準化で、向日市独自の住民サービスは、今後も維持できるのか？ ④自治体の実情に応じた独自施策が継続できるよう、システム面・予算面の担保が必要ではないか
３．向日市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例について	２年前に生活保護行政の現場で起きたような事件の再発防止をめざして条例案が上程された。関心を持つ市民の皆さんとともに、より良い条例をめざして関わってきたが、最終パブリックコメント案から更に多数の変更がなされているため、重要な点について質問する。 （１）第１条・条例の目的について、パブリックコメント案では、「市民全体の公益を保護し、市民の市政への信頼を確保すること」が目的に明記されていたが、上程案では削除されている。その理由は？ （２）不当要求対策が、市民等の正当な要望等を萎縮させてはならない。職員が違法と認めたら警察へ通報するということが安易に行われてはならない。 （３）職員が本条例を守らない場合の対応はどうなるか？ （４）不当要求行為等審査会について ①審査会の名称が、パブコメ案の「向日市公正職務執行審議会」から「不当要求行為等審査会」に代わっている。その理由は？ ②「不当要求行為等審査会」にはどのような活動を求めるのか。 ③審査会委員の構成は？現在どのような者を想定しているか？審査会は第三者性が求められる。少なくとも過半数は行政関係者以外の有識者等で構成すべきだ。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、生理の貧困について	① 生理の貧困の支援を求められている女性がおられることへのご見解はいかがか ② 防災備蓄品の交換期限が近いものを支援が必要な方に配布できないか ③ 学校での生理用品配布の支援はできないか？ ④ 地域女性活躍推進交付金の活用についてのご見解はいかがか ⑤ 生理の貧困の支援にあすもあを活用するのはいかがか
２、公共施設のコロナ対応、WI—FI 環境の整備について	① 行政や市民を交えた会議でのリモートの現状はどうか 相談事業でのリモートへの今後の取り組みについてどうか ② 市民に開放されている公共施設で WI-FI 環境が必要と考えるがいかがか ③ 市役所の入り口や職員入り口への AI モニター体温計の設置の状況と今後の導入についてはどうか

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	太田秀明	所属会派名	MUKO クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．積極的な情報公開をすることについて	ア．個人情報や個人団体に利害を及ぼす可能性のある情報を除き、市民が予算決算の具体的情報を知ることについて行政側に不都合なことがあるのかどうかを聞く。 イ．不都合が無ければ、常時情報開示により、市政運営に対する市民の理解と信頼の増幅並びに一層の効率的行政運営が期待できるものと考えるが、見解を聞く。
２.情報公開条例と文書取扱規程ついて	ア．情報公開条例には、市民にとって不都合な文言が一部記載されている。例えば、第２条２項の「当該実施機関が保有しているもの」については、公文書が意図的に廃棄された場合でも、不存在として処理されることになり、無責任な行政運営を助長することになり改正すべきと考えるが、見解を聞く。 イ．顧問弁護士からの又は様々な計画書作成依頼先からの中間報告・計画書等は、現在も文書取扱規程第９条２項に該当するのかを聞く。
３．一部事務組合の管理と統合について	ア．一部事務組合の管理者と構成団体の首長を兼ねることの問題点と３組合の統合について再度聞く。 イ．一部事務組合の議会を廃止し、地方自治法 第 287 条の 2 に則り、各構成団体の議会にて議案審議することについて聞く。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	常盤ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．女性・若者・市民への支援について	コロナ禍において、金銭的な理由で生理用品を買えない、いわゆる「生理の貧困」が大きな社会問題となっている。そんな中全国の自治体で、生理用品の無料配布や、公共施設や学校のトイレへ誰でも自由に使えるよう設置するなどの取り組みが広がっている。 １，向日市では７月から防災備蓄品を使い、あすもあで配布することになったが、その配布方法と周知は。 ２，市役所をはじめとした市内公共施設、学校への設置も考えていただきたいがどうか。 ３，地域女性活躍推進交付金（つながりサポート型）を活用した事業については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付対象となっている。NPO、社団法人、財団法人、社会福祉法人等にご協力いただいての新たな事業や、さらには学校とも連携した取り組みなど考えておられるか。 ４,「食材提供プロジェクト」とし、多くの市民のみなさんから寄せられた物資を無料で配布提供するという取り組みが京都府内各地で行われている。給付金等の支援拡充も当然必要であると考えているが、食材や生活用品を提供するなどの直接的で具体的な支援を市として行っていただきたいがどうか。
２，教育の諸課題について	１，校舎の改築計画について 市の学校施設はいずれも老朽化が著しく、早急で抜本的な対策が求められる。この一年の間でも、第２向陽小学校では２度モルタルが剥離、寺戸中学校では外壁一部の落下に引き続き、トイレのタイルが剥離するといった事象があった。何れも、児童生徒、教職員への被害がなかったことは幸いであった。 大規模な改修は早急に必要である。 ①改築計画について、いつから取り組むのか。 ②他の学校については長寿命化対策となっているが、今後どのように進めていかれるのか。

	２，２３年度より４向小での通学区域の弾力化による校区外児童の受け入れは中止するとのことであるが、 ①その周知について ②寺中含め他校での対応について ③児童生徒数の増減による学区の再編等はあるか。 ３，GIGA スクール構想・IT 教育の状況について 本市でも全児童・生徒への１人１台の学習用タブレット端末の配備が完了した。１人１台学習用タブレットの整備・活用で、今後学校 教育は ICＴ化が進み、大きく変化をしていくことになるが、ただでさえ教員の仕事量は過重であるところに、GIGA スクール構想でさらに負担は増えるばかりで、減ることはないと考える。 ①専門教員や英語の資格を持った教員の配置ついて今年度の状況を聞く。 ②国の施策に振り回されるのではなく、本市の子どもたちの学びが重要である。最優先で学びを保障するための教育環境整備と、インターネットの通信環境が自宅に整備されていない児童生徒への整備について聞く。 ③オンライン授業、デジタル教科書での対応について現況はどうか。 ４，学校における熱中症事故が増えていることを踏まえ、文科省では、「学校現場における熱中症対策の推進に関する検討会」での検討の結果、各都道府県、各自治体教育委員会において、「熱中症対策ガイドライン」を作成するようにと手引きが作られた。 本市における「熱中症対策ガイドライン」の作成と活用について聞く。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	石田 眞由美	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．　竹林政策について	本市北西部にある向日丘陵には、全国にも有名な良質な筍を産する竹林が広がっている。散策路、竹の径が整備され、その手入れの行き届いた美しい竹林の景観は市民の憩いの場として、そして本市の貴重な観光資源として活用されてきている。本市の宝でもある竹林を、農業×緑地景観×竹産業×観光等の相乗効果で持続可能とし後世に引き継ぎたいと考え、今までの政策実績と今後の方向性・計画について伺う。
２．　竹の径の整備と利活用について	竹の径と竹林整備について伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．指定ごみ袋について。	今年の８月１日から指定ごみ袋使用の試行期間が始まり、来年の令和４年２月１日から完全実施されようとしているが、市民への理解と協力が不可欠である。 しかしながら「燃やすごみ」と「分別ごみ」の区別が分かり難い。 市民への周知をしっかり行っていただきたい。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．コロナ禍での子どもたちが置かれている状況について	１，「子どもの権利条約」について 「子どもの権利条約」を生かした施策や対策が喫緊の課題です。 子どもの利益を最優先の具体的な取り組み（例えば、地域の実情に合った「向日市子どもの権利条例」策定や子どもの意見を聞く子ども会議、ボール遊びのできる遊び場など）を積極的に取り組んでいただきたいがどうか。 ２，向日市でも子どもの虐待が年々増加傾向にあり、コロナウイルス感染拡大による影響で、より増加、深刻化、複雑化することが危惧されています。 (1)現在の虐待とされる事案の件数と人数。どのような対策がとられているのでしょうか。 (2)令和３年３月議会の山田議員の一般質問で、必要に応じて家庭児童相談室の体制強化を図ると答弁されているが、現在の体制はどの様に強化されていますか。 (3)対応に苦慮するケースもあると想像できるが、どのように対応されているのか。 (4)本市の体制強化の取り組みについて ア、家庭児童相談室との連携はどのように行われているのか。 イ、第２次ふるさと向日市創生計画令和３年度改定版（案）では、虐待対応専門員は現在未配置とあるが、早急な配置ができるのか尋ねる。 ウ、目的や具体的な取り組み及び効果、設置にむけてのスケジュールや進捗状況をお聞きする。

	３，幼児期からの性教育と小中学生の性被害を問う。 ４，悩みが潜在化しやすい「ヤングケアラー」についての向日市での実態を問う。 ５，向日市で、ＳＯＳの声を上げられず、なかなか支援につながらない子どもたちでも発信しやすいようＳＮＳを活用した相談、ワンクリックでつながる相談窓口の開設など、できないのかを問う。
２．令和３年度の待機児童等について	(1)保育所の待機児童について 第２次ふるさと向日市創生計画の令和３年度改訂版（案）では、「待機児童０」とありますが、目標は達成できていないがどうでしょうか。 (2)短時間保育士の活用について 待機児童対策は、保育の量とともに質の向上をめざすべきです。本市の、短時間勤務の保育士の活用についての見解をお尋ねします。 (3)令和３年の主要事業である、保育士確保のための、「保育士奨学金返還支援事業」の利用人数は何人ですか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	飛鳥井けい子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 子どもや女性の自殺や児童虐待の急増に歯止めを掛かけることについて	コロナ禍で 19 万 7,836 件、前年比 6%も児童虐待が増加しており、子どもを助ける施策が必要だ。 ボランティアと協力し、（仮称）「子どももぐもぐサービス」で、子どもに食品をプレゼントできる工夫をして、この夏を乗り越えていけるように応援してほしいがどうか。また生理用品を生活困窮の中にある女性たちに無料配布をしてはどうか？
２． 動物愛護の精神を街中に広げることについて	• 猫を殺した人は現行犯逮捕でなければ処罰されないのか？ • 猫を助けて飼っている家に「この町内から出て行け！」という人がいるが、脅迫罪刑法 222 条の犯罪の人権侵害である。今回の猫の避妊・去勢の 5 千円の補助について、猫を絶滅させるためのものと思い、動物愛護のためと知らない人もいるので、目的をしっかり周知徹底し、虐待防止の広報をして欲しいが？ • なぜ犬には予算化されなかったのか？（他市では、野良猫犬に全額手術費用を無償で支出しているので、猫だけにするので誤解が生まれているが、犬にも補助すべき） • 愛護法には飼い猫も野良猫も生命の線引きはなく、人間に捨てられた猫に何の罪があるのか？市サイドに野良猫処分の考えはなかったか？ • 他市では、まち猫活動に支援金が出ている。この活動について啓発して欲しいが？ • 市内の獣医さんと事前に話し合いをし、協力体制を組んだか？ • 長岡京市のように図書館に猫の本をたくさん購入

	してほしいが？ ● 向日町署にパトロールを強化していただき、動物虐待の犯人逮捕への協力を依頼して欲しいが？ ● 小動物を虐待する人は、やがて人間の幼児や児童にも犯罪をもたらす恐れがあり、子どもたちの安全を守るため、全市民に犯人逮捕への PR をして欲しいが？ 「動物介在教育」は、生命の大事さや思いやりの心が育つ！小学校で犬を飼ってアレルギーがなくなったと好評です。このことと映画「豚の P ちゃんと 32 人の小学生・生命の授業 900 日」は素晴らしく学校でぜひ取り組んでほしいが？（教育長）
３． 勾配が急で危険な西野地区の道路の改善を！	「白鳳の泉」を破壊して行われた工事により、はりこ山へ向かう道路がとんでもない急坂になり、冬はアイスバーンになり、大原野道へスリップして大惨事になります。現状復帰や壁に手すりを付ける等、行政指導を要請したいが？
４． デジタル庁構想やマイナンバーカード制度の危険性について	5 月 12 日、この法案がわずか 3 カ月で可決されてしまったが監視社会への加速やプライバシーが心配であり、地方自治体は市民のボディガード としてしっかり調査研究し、問題意識を持つべきだが？
５． 不登校は自然なことで、まわりが過剰反応、強要をせず、そっと社会全体で見守ることについて	子どもの自殺が増えており、まわりの無理な励ましが、かえって追い詰め、不幸な結果を招いており、日本人の「みんな一緒病」を強要する圧力をやめ、子どもの権利条約や、自己決定権や、心の自由は個々人にあるので「頑張って！」と言わないこと、親や周りが悩み苦しみ心の病気にかからず、心にゆとりを持つことや、あたたかく見守ることが悲劇防止になることを啓発してほしいが？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、JR 向日町駅東口開設推進事業について	市民の関心は、向日町駅や周辺が一体どうなるのかと言う事でもあり、具体性を持った内容が必要である。現時点で開示されている情報には不確定な部分が多くあり、市民にとっては計画の全容が見えない不透明な状態が続いている。コロナの影響、進捗及び情報の開示時期について伺う。 タワーマンションであるが、少ない面積で多数の住居を確保できるが、歴史も浅く、近年になって最初期のものが大規模修繕の必要な時期に入り始めた。公共政策の点から見ても、局所的かつ急激な人口増加による、保育、教育、交通安全、防災などの不足や過負荷、立地地域における住民間の軋轢、潜在的な将来負担のなどの問題が想定される。見解を伺いたい。 本事業の影響は大きく、事業効果について具体的な数字が市民に示されるべきではないか。弊害も大きいと予測されるが、一部の市民にのみ、負担を背負わせる事があってはならないと考えるがいかがか。 １、事業における情報公開の時期について ２、タワーマンションの本市への影響について ３、再開発に伴う弊害の負担について
２、森本東部地区開発について	全国的にも直線部を約 90 度も屈曲させる河道変更は例を見ない。寺戸川は既に工事を終えたが、降雨量が増大する中で性能を発揮するか注意がいる。 工事に伴い、調整池を設置し自然沈下方式による濁水対策をするとしているが、住民より濁水・泥水が放出されているとの声がある。降雨時に見られる排水は、赤茶けた色をしており、一見し、泥水である状態である。至急の調査と対策が必要なのではないか。 周辺地域住民でつくられた、「森本東部開発を考える近隣住民の会・準備会」が質問状を出されている。日本電産は「Ｃ棟以外の建築物は計画未定のため、現時点での具体的なご要望への回答は控えさせていただきます」としている。しかし、５月に行われた「第

	３次向日市環境基本計画策定委員会」で日本電産からは「開発の概要は固まっていて、空き地のあるような開発にはならない。」との発言がなされていた。 １、濁水の排水基準への適合性について ２、排水の処理について ３、日本電産の発言と質問状への回答について
３、議会と行政の在り方について	前回議会で市営駐車場の設置に関する条例案が提案された。議会において審議中には、既に料金自動収納機などの設置工事が進められていた。有料駐車場としての運営は条例の制定を行わなければならず、その権限は議会に所属する。条例の制定を待たずに有料駐車場としての実態を伴った状態で完成されているのはなぜか。地方議会は二元代表制を取っており、市の条例、予算などについて、その内容の是非を議会での審議を経て確認し確定する。議会審議中の案件について議決を待たずに執行することは、議会の議決権を犯す行為である。議会軽視ではないか。 １、適正手続きとして問題があるのではないか ２、条例案が否決されていた場合どうしたのか ３、議会軽視ではないか
４、水道について	京都府は、２０２１年には市町の方針決定、２０２２年には広域化推進プラン策定、２０２６年には広域化基本協定の締結、２０２８年には水道企業団設立を予定している。府のアセットマネジメント発注仕様書には「水源の状況のほか、取水場、導送水管、浄水場、ポンプ場、配水池など統廃合を検討する」と明記されており、事業統合と施設統廃合がセットで推進されようとしている。手間とカネのかかる区間は自治体の管理に任せたまま、収益性のある部分のみが事業統合の対象とされており、国が水道法改正で進める民営化への備えである。国は、都道府県に令和４年度末までに「水道広域化推進プラン」策定するよう要請しており、多様な広域化・広域連携を推進するため、経営統合だけでなく、施設の共同設置や事務の広域的処理等の地方単独事業を対象に追加し、交付税措置率を５０％から６０％に拡充する等の誘導政策を講じており、自治体への民営化圧力ともとれる。統廃合による物集女西浄水場の廃止は、本市水道事業の存続を脅かすものである。 １、5月末に市町の方針を決定するとあるがどうか

傍聴者　配付資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、コロナ禍を収束させるためのワクチン接種などの諸問題について	本市では65才以上の高齢者へのワクチン接種が始まっています。しかし「インターネットなどによるワクチン予約が出来ないことについてどう考えているのか」など多くの高齢者から不満の声を聞きました。国は高齢者のワクチン接種完了目標を8月1日としています。しかし本市では9月や10月に接種される方もおられます。日本共産党議員団はワクチン接種がゆきわたるまでの間はPCR検査や抗原検査を並行して行うよう市長にずっと申し入れ、議会質問でも繰り返してきました。１、高齢者のインターネット予約は問題だったのでは。何度も電話され予約できなかった高齢者にお詫びや、今後は高齢者対象の手続きなどでも配慮すると広報で報告して頂きたいがどうか。 ２、集団接種会場を増やしたり、医師会と相談して個別接種を増やすなど検討しているのか。7月中に完了出来ないとしたらいつまでかかるのか。一般の接種はいつから始めるのか。３、集団接種会場の待機スペースの確保、車いす用のトイレの有無、猛暑対策、台風など災害時対策、接種後の体調の変調の対応はどうか。４、かかりつけ医など個別接種時も集団接種と同様、介護度1から５の方の無料送迎タクシーの利用を可能にすること。５、医療・介護事業所・学校関係・放課後デイ・保育所などへ定期的なPCR検査を受ける仕組みや検査費用の補助制度が検討されている。是非実現を。６、ワクチン接種に関わる職員、医療従事者などを優先的にすること。７、生活困難な市民、中小業者への市独自策を行え。８、昨年並み

	の国保・介護保険料の減免を行え。９、国に2回目の「持続化給付金」「家賃支援給付金」を行うよう求める事。１０、国に対してオリンピックを中止するよう求める事。
２、市民は勿論、職員の1人1人が大切にされる向日市を	4月初め職員の離任式に参加。定年まで勤務の退職者のみならず、3人の保育士さんが退職されておられた。今年度予算から保育士奨学金の援助制度が出来、保育士さんは市にとって必要な人材です。この間の保育士の退職のみならず、職場でのコミュニテイなどを大切にする気風が市の各部署に不足していないのだろうかと疑問に思っています。市長は常々「職員の人事異動を頻繁に行い、色んな仕事を知ってもらう」といわれています。しかしその職場の経験者やその職場での意欲なども大切であり何よりも市民が安心できる部課署づくりに努めなければなりません。その問題が大きく問われたのが2年前の生活保護ケースワーカー事件です。専門職での短期での任務、ケース担当の多さ、共有して相談できる職場組織の問題でした。十数年の正職員を減らしすぎた自民党政権の政策のひずみがコロナ禍であらわれ、職員不足や過重労働が目に余る。１、正職員の定数に対する現況と休職者対策について。定年退職者以外を止める対策は。２、頻繁な人事異動及び短期間の人事異動の見直しを。３、国が月８０H以上の長時間労働者は安全衛生委員会への報告及び産業医の面談をとしている。市はこれらを行っているか。超過勤務解消の目標と計画は。４、東向日別館と本庁舎への職員の出入りは猛暑などで体調が心配。自転車やバイク、公用車などの交通手段の利用を早急に検討して頂きたい。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、デジタル化推進法の諸問題について	①本市のＤＸ計画と取り組みの影響と課題について。人員配置、外部から職員採用計画は ②業務量、業務内容。本市ではどの部門のどの係がそれにあたるかを明らかにしてください ③個人情報を保護しつつ先端技術を住民福祉の向上にどう生かすのか議論が必要だ ④「向日市個人情報保護条例」の影響は。個人情報の保護が欠落している重大問題がある「個人の情報保護」が守られない危険性があることから情報開示、自己開示決定権は担保されるのか
2、老朽原発再稼働から住民を守る地域防災計画改定について	①老朽化した高浜１、２号機の原発再稼働について再び市長の見解は。市民の安全が守れないことから反対表明し、老朽化した原発再稼働を認めるのかどうかについて所見をお聞かせください。 又、事故から１０年の節目で自然再生エネルギーの活用状況は。 ②コロナ禍に対応した避難所の改善など向日市の地域防災計画の改訂について　「３密状態」避けるため計画改善を 消防団活動でコロナ禍での住民避難所つくりの訓練が行われました。その内容と成果。今後生かされるのか ③コロナ禍に対応した避難所のあり方、運営の仕方にするため「向日市地域防災計画」の再検討、見直し

	④住民がとるべき避難行動、住民がとるべき避難行動の情報の改正点について ⑤コロナ禍の元で地域防災計画を見直しすること。 新型コロナウイルス感染の猛威が続いているが、もしこうした中で何らかの災害で住民避難指示、命令がだされる事態をむかえた時を想定したら、大変な状況となることは必至です。 感染症対策と一体なった災害対策と住民避難誘導は ⑥住民避難先の避難所対応としてコロナ感染対策の「３密対策」はどのように検討はされているのか。 「向日市地域防災計画」はウイルス感染症対策を想定していないが、具体的には、避難人数の制限は検討されたか。医療体制確保が不可欠となるが、避難される要配慮者の搬送と医療・介護体制も含めて検討は ⑦住民の避難に関連し住宅地には「土砂災害特別警戒区域」に十数カ所が地域指定されているが、住民不安を取り除くための工事状況、計画はどうか